

Le Salon de Compositeur Vol.3

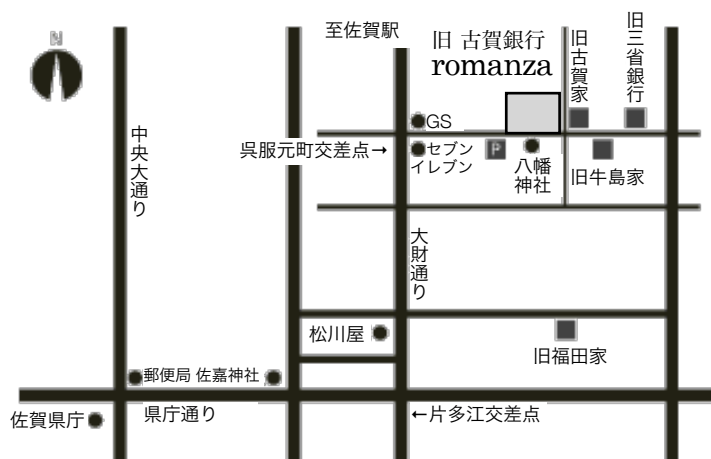
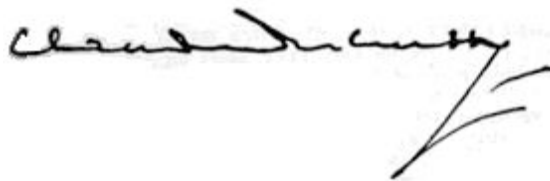
Le Salon de Debussy

Contemporain de Debussy -ドビュッシーとその時代-

クロード・アシル・ドビュッシー(1862-1918)はフランス近代を代表する革命的作曲家であり、昨年、生誕150年を迎えたことは記憶に新しい。彼は変幻微妙さと自然の神秘性を音楽で描くことの出来る新手法を見出した。同時代のモネ、マネ等の印象派の画家達は光や空気をキャンバスに、そしてドビュッシーはそれらを色彩豊かに音で表現した。また彼はパリの万国博覧会にてインドネシア、中国、日本等の文化に触れ、自らのインスピレーションの源とした。彼の自室には葛飾北斎の「富嶽三十六景・神奈川沖波裏」(本紙表/右下)が飾られており、彼の作曲した交響詩「海」の初版楽譜の表紙に用いるほど好んでいたことは有名なエピソードである。

印象派(印象主義)という表現はもともとモネ、ドガ、セザンヌらの新進画家に共通していた表現様式に対する揶揄(やゆ)表現が定着したものであり、音楽における印象主義も若手作曲家の作品への揶揄の意味合いを込めて用いられた表現である。ドビュッシー自身も出版社のデュランに宛てた書簡の中で、この用語に対して否定的な見解を示していた。彼は最晩年「フランスの音楽家クロード・ドビュッシー」と楽譜に署名したが、まさに自ら名乗るに相応しいことは彼の作品から十分にうかがえるものである。

この時代はフランス音楽の中にも、様々な主義の作曲家が存在していた時代であり、同じく印象主義音楽の門戸を開いたモーリス・ラヴェル(1875-1937)、音楽界の異端児と評されたエリック・サティ(1866-1925)、ラヴェルの師であり和声の上で19世紀と20世紀を繋いだガブリエル・フォーレ(1845-1924)など、多種多様な作曲家達が存在し、フランスはまさに音楽的に円熟した時代を迎えたのである (右:ドビュッシーのサイン)



会場 (チケット予約・お問い合わせ先)

「浪漫座」

〒840-0023

佐賀市柳町2-9

佐賀市歴史民俗館 旧古賀銀行内

Tel 0952-24-4883 Fax 0952-22-6849

通常の営業時間 10:00~17:00

店休日

毎週月曜日(祝日の場合は火曜日)

祝日の翌日(土曜日の場合は閉館)

12月29日~1月3日

「交通アクセス」

- <バス> 佐賀駅バスセンターより片田江方面「呉服元町」バス停車
- <徒歩> JR佐賀駅より徒歩30分
- <自家用車> 佐賀大和インターより車で15分